

# 市民による多様な講座の開催

## 愛知県瀬戸市

人口：128,819 人

面積：111.62 km<sup>2</sup>

### 取組の概要

市民が学習者であると同時に、学習指導者でもあるという視点に立ち、市民が学習講座を企画・運営する「学びキャンパスせと」を実施している。事務局にNPO法人を据え、講師は公募制、事業費は受益者負担により運営している。

### 取組の紹介

#### 1 取組の背景

- ・ 団塊の世代、子育て終了後の女性等による学習ニーズは大きくなるとともに多様化してきており、中央公民館で行ってきた限られた講座では市民の要望に応えきれてない状況であった。
- ・ その中央公民館も平成 17 年度末に用途変更となり、平成 16 年度末に竣工した多目的ビル内に学習室が確保されたことを機に、市民の手による、より豊かな学びのシステムの構築を目指し、新設された多目的ビルの学習室をメイン会場として、新たな学習講座を展開することになった。

#### 2 取組の具体的内容

- ・ 平成 18 年より本格実施している。
- ・ 受講期間は前期 5 月～9 月、後期 10 月～3 月の 2 期制としている。
- ・ 講師は年 2 回公募しており、教える生きがいをもって自らの知識を活かしたい人であれば誰でも登録できることとしている。
- ・ 市民の主体性を最大限活かすため、指導内容も問わず（ただし、政治、宗教、営利を除く）、誰にでも活躍の機会を提供するため、講師の資格審査は行わない。
- ・ 前期は 60 名（市外在住 10 人）の講師が 83 講座を登録。後期は 63 名（市外在住 14 人）の講師が 111 講座を登録。講師は大学生から 70 代までとその年齢は幅広い。
- ・ 受講生は年 2 回募集しており、受講希望者が一定数に満たない講座は実施せず。
- ・ 前期 64 講座成立、受講生は 1,205 名。後期 93 講座成立、受講生は 1,602 名。
- ・ 講座内訳は、PC、教養、美術、運動、書道、語学、市民活動等となっている。

- ・ 受講料は講座回数に応じ 4 回 2,415 円、8 回 4,305 円、12 回 6,195 円とし、講師料、会場使用料等は受講生負担としている。
- ・ 事務局は公募による NPO 法人が務め、市との協働により事業を推進している。

### 3 取組の効果

- ・ 受講機会の増加

従前の行政主導の仕組みにより提供していた講座数は年間 13 講座しかなかったが、学びキャンパスせとの実施により 157 講座へと格段に増加。講座メニューも多種多様となり豊かな学習機会が提供できるようになった。

- ・ 経費削減効果

	平成 17 年度 (市運営)	平成 18 年度 (NPO 運営)	
収入 (受講料)	250 万円	0 円	
(会場使用料)	0 円	200 万円	
支出 (指導料)	850 万円	0 円	
(消耗品)	80 万円	0 円	経費削減効果
収 支 差	△680 万円	200 万円	880 万円

### 4 取組中の課題・問題点

- ・ 誰でも講師として活躍できる本事業では、初めて教壇に立つ講師も少なくなく、受講生からの知名度は一般的に高くない。
- ・ また、講座内容の掲載もパンフレットの紙面上、文字数に制約を受けるため詳細が伝えきれず、講座内容の詳細が伝わらない課題を抱えていた。
- ・ 結果的に受講後の取り消しが発生すれば、受益者負担で事業費を賄っている以上、講座運営に支障きたすことも予想された。  
→ そこで、予め受講生と講師のミスマッチを防ぐ手立てとして、講師自身が講座の内容紹介や優れた作品を展示する講座紹介展を開催した。  
受講希望者は、講師との会話を通じて、その人柄や講座内容を直接確かめられ、講師は受講生に PR をする良い機会として機能している。

### 5 住民の反応・評価

- ・ 18 年度前期講座後のアンケート結果は次のとおりであり、講師の評価が高かった。  
「講座の回数」・・・ちょうど良い 71%  
「講座の時間」・・・適切 76%  
「講座の進め方」・・・適切 82%  
「講師の評価」・・・良い 92%
- ・ 回数・時間に関しては、少ない 24%、短い 21%と受講生は感じており、市民の学習意欲の高さを感じる。

- ・ 「受講料」については、適切 81%、安い 12%との評価であった。
- ・ また、自由意見欄には、次のような意見をいただいている。  
「今までの市と違ってとても活気あふれる試みで面白く楽しかった」  
「多種の講座があって選ぶことが大変楽しいです。沢山の講座を開いていただいて嬉しいです」  
「手ごろな価格で夜からの時間帯もあり、子育て中の自分にとっては通いやすかった。次回も受講したいなあ」  
「(社会貢献の講座を受けて) とても参考になる興味深い話が多く、自分も実践してみようと思った。行動力・考え方ともに素晴らしかった」

## **6 今後の課題**

- ・ 中心市街地の活性化を図るため、駅前の複合商業施設を主会場としているが、講座増加に伴う会場確保が困難となり、今後受講生にとって利便性のよい新たな会場を確保しなければならない。

## **7 今後取り組む自治体に向けた助言**

- ・ 本事業のような取組であれば、講座紹介展のような講師と受講希望者が対面する機会、または講座内容が事前に判断できるような仕組みが必要であると考えます。

### **(参考) 当該取組内容の関連ホームページ**

<http://www.gc-net.jp/manabi-seto/index.htm>

**担当部署：学び課**